



2025 年 6 月 6 日

各 位

会 社 名 ポ ー ト 株 式 会 社
代 表 者 名 代表取締役社長 CEO 春 日 博 文
(コード番号：7047 東証グロース・福証 Q-Board)

問 い 合 せ 先 常 務 執 行 役 員 辻 本 拓
財 務 I R 部 長

TEL. 03-5937-6466

ストック利益および各事業状況に関するお知らせ

2025 年 5 月 14 日に 2025 年 3 月期決算、株主還元方針変更、中期経営計画「PORT ODYSSEY800」について公表して以降、当社株価が軟調で 2026 年 3 月期利益成長鈍化懸念等について投資家の皆様からお問い合わせ、関心を頂いている点も鑑み、足元の状況を下記の通りお知らせいたします。

なお、2026 年 3 月期第 1 四半期において、売上収益、EBITDA、営業利益、ストック利益とも計画比を超過する順調な進捗推移となり、前年同期比では売上収益は業績予想以上の増収率を見込んでおりますが、前期第 1 四半期にネットビジョンアカデミー事業の事業譲渡に伴う 2.47 億円の譲渡益が利益計上されているため、EBITDA、営業利益は第 1 四半期のみ減益の見込みとなります。

記

1. 概要

当社は「社会的負債を、次世代の可能性に。」をパーパスに掲げ、WEB マーケティング×セールスの融合で、企業の経営課題を成果報酬型で解決する成約支援事業を展開しております。エネルギー領域では、当社グループでの総成約件数は年間 90 万件以上で国内最大規模（※1）の成約支援事業者となっております。人材領域では、国内最大級の就活生向け企業口コミ情報プロダクト「就活会議」、国内最大級の就活ノウハウ情報プロダクト「キャリアパーク!」、口コミ掲載型の就活生同士のコミュニティサイト「みんな就」（2024 年 4 月）を運営しており、2025 年卒の新卒層のユニーク会員数は約 63 万人（※2）となっています。

(ストック利益)

利益成長の蓋然性を高めるために将来利益の積み上げを積極的に行うことでストック利益の拡大を図っており、2025 年 3 月期は将来利益を 18.6 億円積み上げたことも寄与し、2026 年 3 月期第 1 四半期はストック利益の前年同期比での大幅な成長を見込んでいます。また、将来利益については中期経営計画「ODYSSEY800」初年度ということもあり、増収増益を前提に将来利益の積み上げを最優先で取り組む方針のもと前年同期比 50%増加となる 28 億円を積み上げていく計画に対して順調な進捗となります。

(エネルギー領域)

エネルギー領域においては、電力・ガス事業者の新規顧客獲得需要の増加や成約単価の回復が見られる中で、市場シェア拡大の好機としてマーケティング投資を強化することで総成約件数を大幅に拡

大し、2025 年 3 月期では単一事業で売上収益が 100 億円を突破し、売上収益前年同期比+67%の大幅な成長となっております。2026 年 3 月期においても、継続的な利益成長の蓋然性向上に向け将来利益の更なる積み上げを行いながら、積極的なマーケティング投資を継続し、総成約件数の拡大を図り、引越しを契機にした成約に加えて切替えユーザーにもアプローチを行っていく計画で売上収益前年同期比+30%以上の成長を見込んでおります。足元の 2026 年 3 月期第 1 四半期において、前期同様に積極的なマーケティング投資により総成約件数の拡大ができており、将来利益への積み上げを更に強化しながら、売上収益前年同期比+30%を大きく超える成長と順調なストック利益の拡大が見込めている進捗推移となります。

(人材領域)

人材領域においては、企業の新卒採用意欲の本格的な回復や企業における人材採用競争の激化等、外部環境が良好な状況において、就活生の 90%以上の強固な会員基盤を元に、2025 年 3 月期では人材紹介サービスの成長が牽引し、人材領域全体で売上収益前年同期比+37%を順調な成長を継続しております。

2026 年 3 月期においても、引き続き強固な会員基盤を活用して、成約支援組織を前年同期比 40～50%程度拡大し、地方拠点も拡大することで、人材紹介での高い成長を持続させて人材領域全体で売上収益前年同期比+30%以上の成長を見込んでおります。2026 年 3 月期第 1 四半期においても就職活動の早期化影響含めて人材紹介件数が拡大しており、人材領域においても計画比で好調な進捗推移となっております。

※1 「国内最大規模」：当社調べによるものになります。

※2 2025 年 3 月期決算説明資料

2. 今後の見通し

上記記載の通り、ストック利益、エネルギー領域、人材領域ともに計画比で順調な推移となっております。なお、前期第 1 四半期に 2.47 億円の譲渡益が利益に計上されているため、前年同期比では売上収益は業績予想以上の増収率を見込んでおりますが、EBITDA、営業利益は第 1 四半期のみ減益の見込みとなります。今後も動向変化のあった場合には、適時適切に開示させていただきます。

以 上